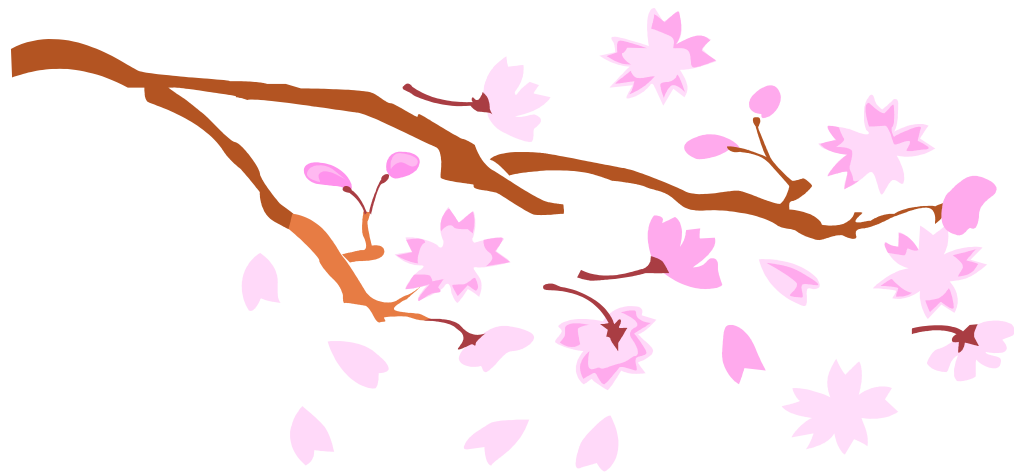


令和3年度

# 学校評価結果資料



文京区立駕籠町小学校

## 目 次

- ・ 学校生活についてのアンケート（児童） . . . 1
- ・ 学校教育活動に関する保護者アンケート . . . 3

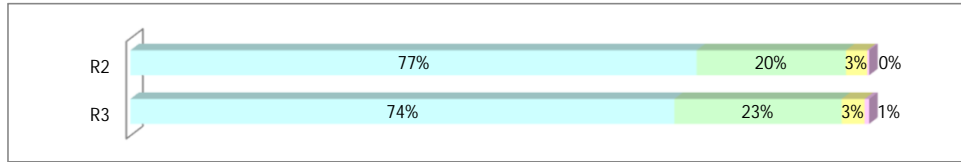
# R3学校生活についてのアンケート(児童) 分析及び考察

【1】

■ A: そう思う ■ B: ややそう思う ■ C: あまりそう思わない ■ D: そう思わない

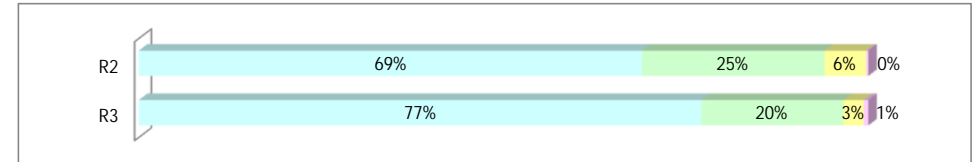
1

質問文: どの教科の学習も分かり、だいたいできた



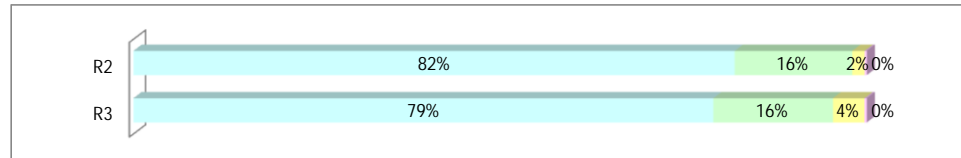
2

質問文: 友達と相談したり助け合ったりして勉強できた



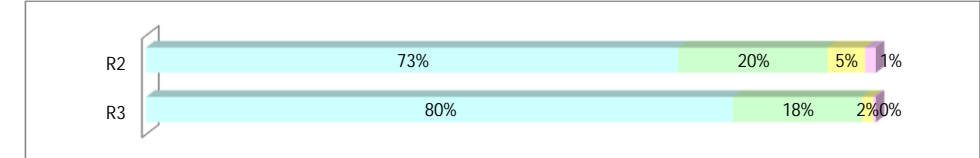
3

質問文: 体育の学習でいろいろな運動がだいたいできた



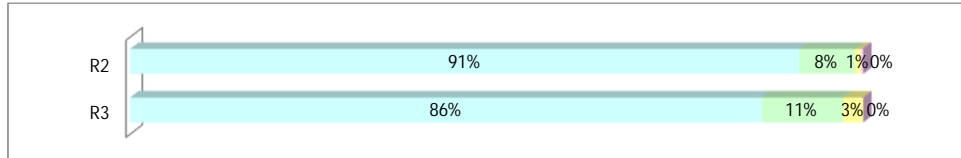
4

質問文: 生活科を楽しく勉強したりたくさん調べたりした



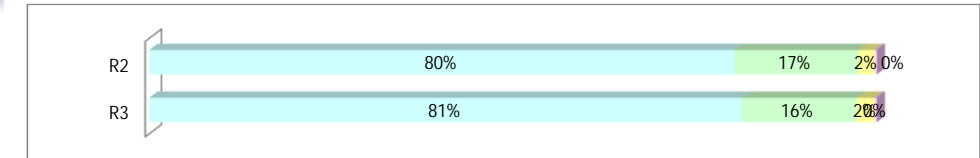
5

質問文: 学校行事(運動会、展覧会)に力いっぱい取り組んだ



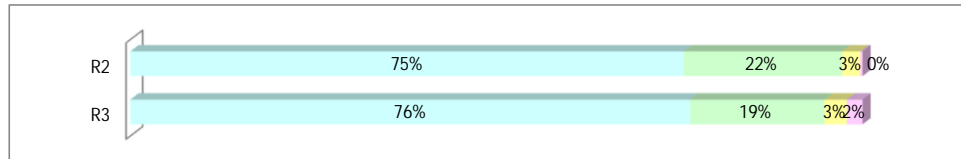
6-1

質問文: 「駕籠町スタンダード」を守って生活した(あいさつ) (1)



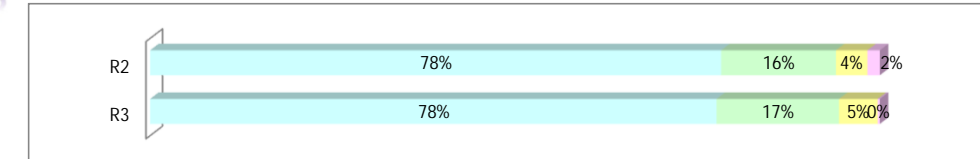
6-2

質問文: 「駕籠町スタンダード」を守って生活した(廊下の歩き方) (2)



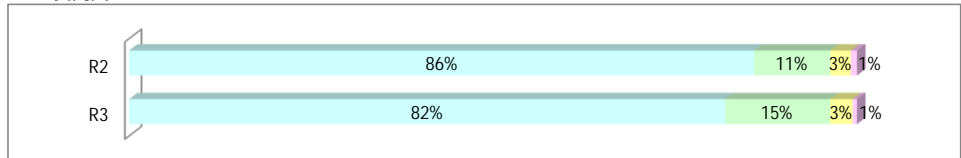
6-3

質問文: 「駕籠町スタンダード」を守って生活した(姿勢) (3)



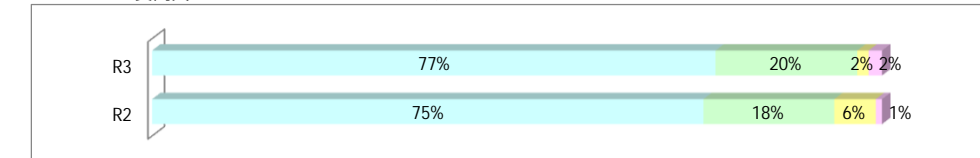
7

質問文: 友達の失敗を責めず仲良くできた



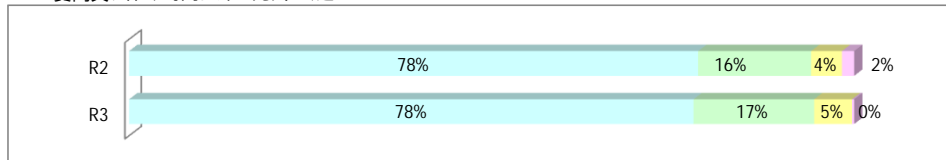
8

質問文: 友達の気持ちを考えて行動し、仲良く譲り合って生活できた



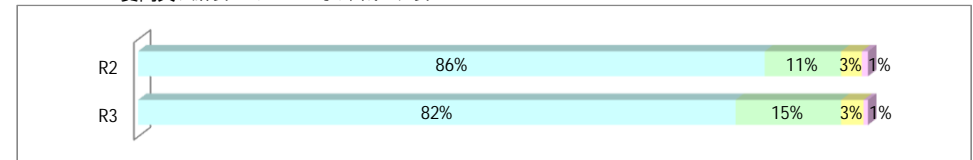
9

質問文：休み時間に外で元気よく遊んでいる



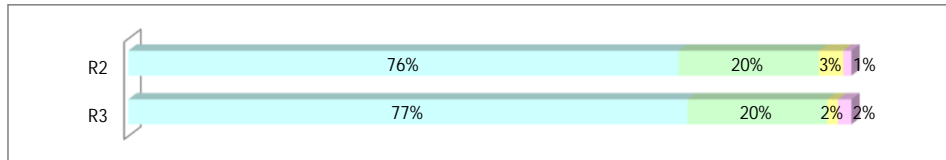
10

質問文：給食のマナーを守り、残さず食べている



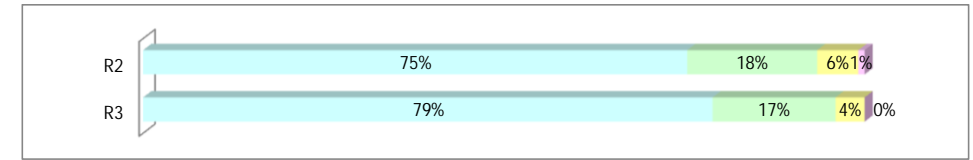
11

質問文：家庭で学校のことを話している、手紙を渡している



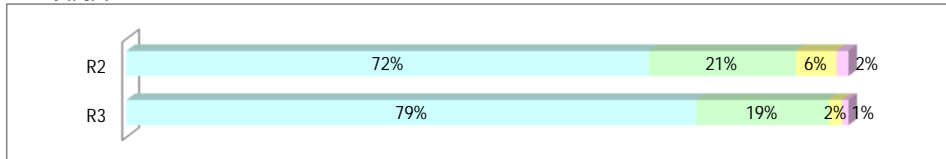
12

質問文：先生の教え方が自分に合っている



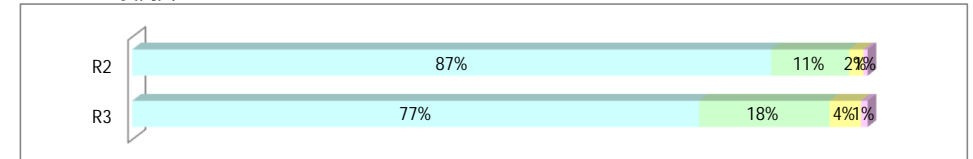
13

質問文：先生と安心して話ができる



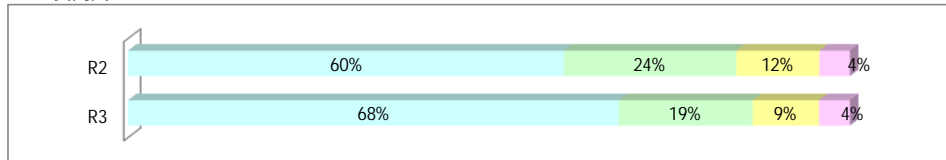
14

質問文：友達と遊んだり勉強することが楽しい



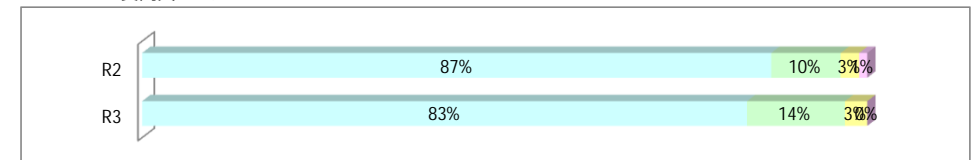
15

質問文：自分のことが好き



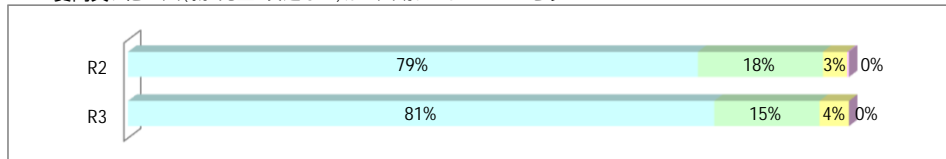
16

質問文：今、夢中になって取り組めることがある



17

質問文：他の人(親・先生・友達など)から大切にされていると思う



ほとんどの項目で肯定的な評価が90%に達する結果となった。今後も児童理解に励み、児童一人一人を大切に、それぞれのよさを伸ばす指導ができるよう、複数の目で児童を見る取組を続けていく。

設問1 学習に対する達成度についての質問では「そう思う」「ややそう思う」という肯定的な評価をした児童が90%以上であった。しかし、令和2年度に比べ「そう思う」の評価が4ポイント下がっている。新型コロナウイルス感染症対策により、教科によっては活動等に制限があり、十分に学習に取り組めなかったという思いをもつ児童が増えたことが考えられる。今後は、教師自身が主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、児童が状況に応じて話し合い、達成感を感じることができるような指導の工夫をしていく。

設問7 この項目では、ほとんどの児童が、思いやりの気持ちをもって生活することについて、肯定的に評価している。しかし、令和2年度に比べて、「そう思う」の評価が3ポイント下がっている。コロナ禍により校内でも直接的なかわりが減ってしまったことにより思いを実感としてとらえにくくなっていることも一因として考える。今後も、年2回の人権標語(こころ生き生き標語)作成時や、道徳の授業を中心に、相手の気持ちを考えて行動することの大切さを実感することができるような指導をしていく。

設問15 令和2年度と比べ、「そう思う」が8ポイント増えている。教師が、児童のよさを認める言葉掛けやスモールステップにより達成感を感じることができるような学習指導を行う等、自分の成長や、自分のよさを感じることができるような活動を常に行っていたことにより、児童の一人一人の自己肯定感も高まっていったと考える。今後も様々な体験を通して達成感を味わったり、他者から認められたりして、自分への肯定的な気付きを促せるような指導をしていく。

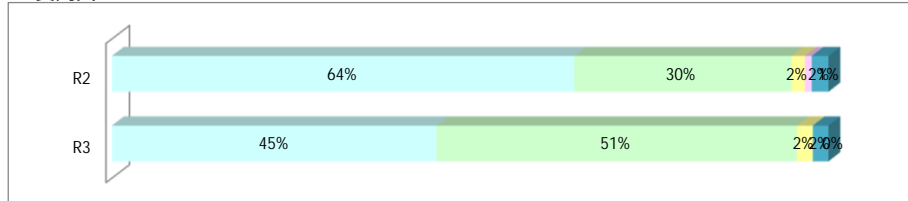
## R3学校生活についてのアンケート(保護者) 分析及び考察

【2】

■ とてもあてはまる まああてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない わからない

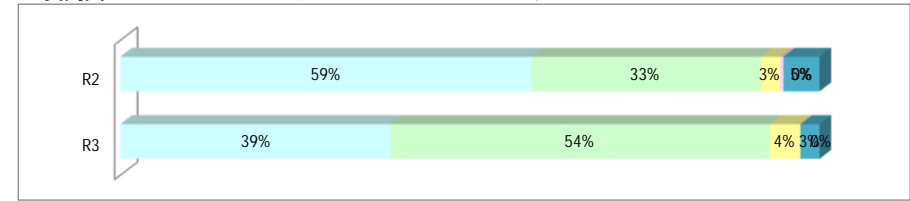
1

質問文: 本校の教育活動に満足している



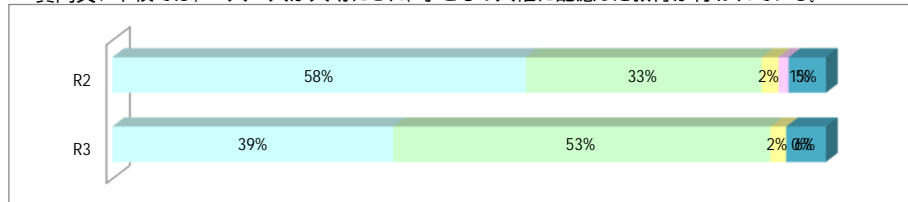
2

質問文: 本校の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。



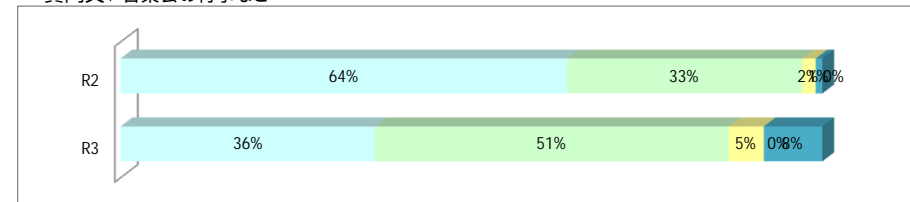
3

質問文: 本校では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。



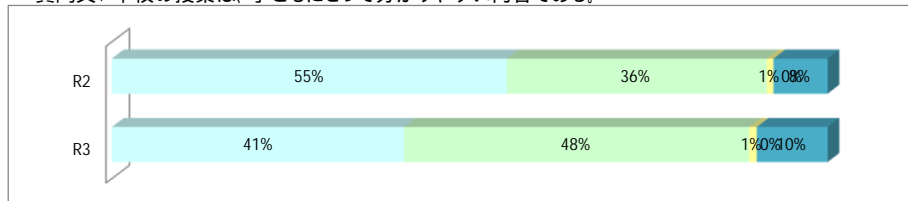
4

本校は、特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる。本校の取組: 日本の伝統・文化理解教育、オリンピック・パラリンピック教育、体力向上、体育の授業の充実、習熟度別少人数指導、運動会や音楽会の行事など



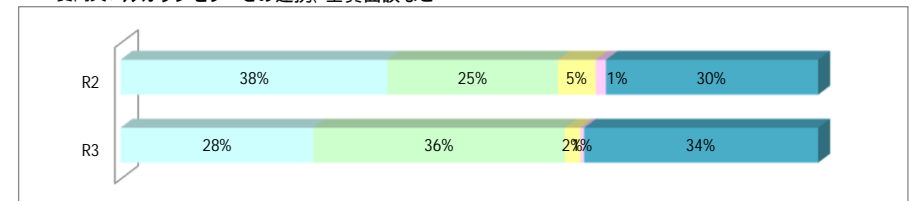
5

質問文: 本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。



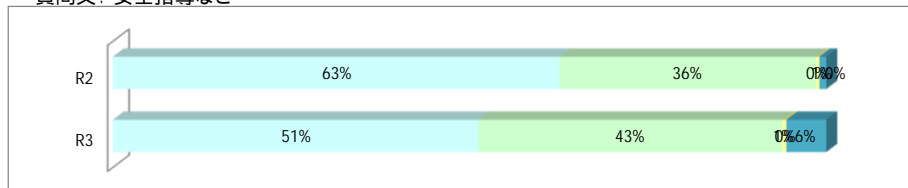
6

本校は、学校生活で起きたいじめ等の問題に対して、素早く適切に対応している。本校の取組: 校長、担任をはじめとした全教職員による声掛け、学校生活のアンケート、学級集団アンケート、スクールカウンセラーとの連携、全員面談など



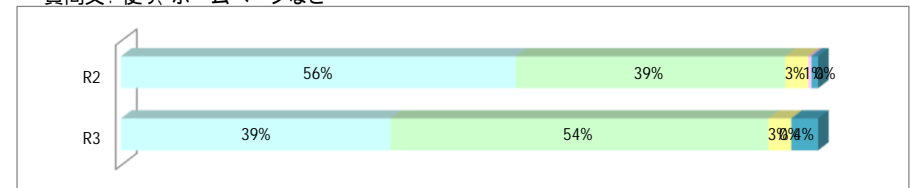
7

本校では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。本校の取組: 避難訓練、安全指導など



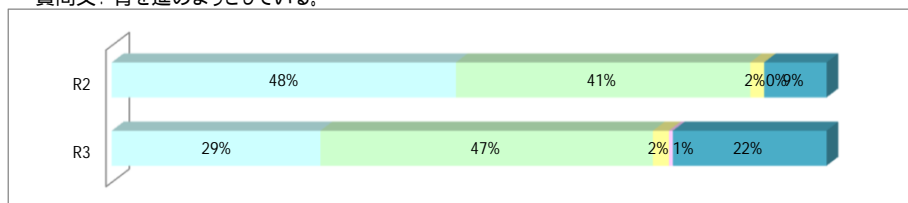
8

本校は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。本校の取組: 学校便り、学年便り、ホームページなど



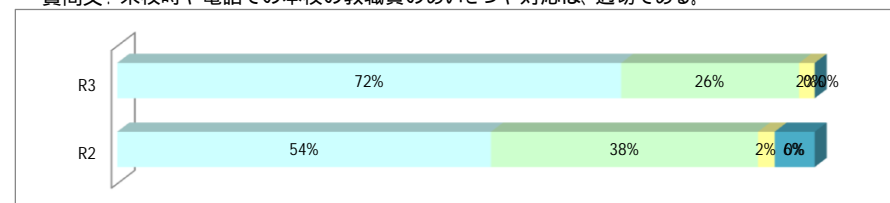
9

本校は、区や学校の方針等に対する保護者の意見・要望に耳を傾け、協力して教育を進めようとしている。



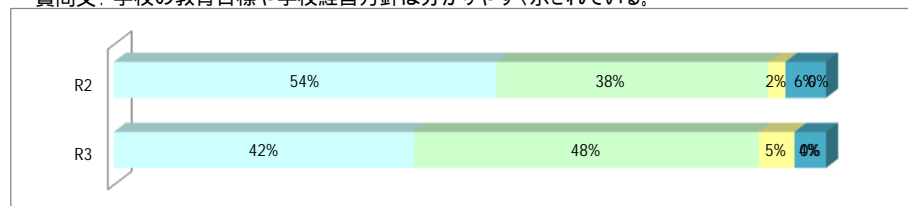
10

質問文：来校時や電話での本校の教職員のあいさつや対応は、適切である。



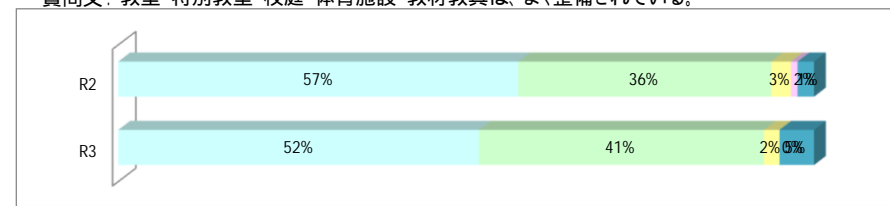
11

質問文：学校の教育目標や学校経営方針は分かりやすく示されている。



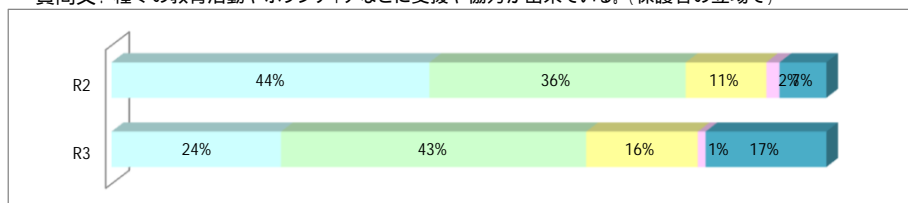
12

質問文：教室・特別教室・校庭・体育施設・教材教具は、よく整備されている。



13

質問文：種々の教育活動やボランティアなどに支援や協力が出来ている。(保護者の立場で)



- はじめに 今年度のアンケート結果は、「とてもあてはまる」「まああてはまる」を合わせた肯定的な回答が概ね90%得られたことから、本校の教育活動に理解が得られていることが伺える。一方で、どの設問でも令和3年度は令和2年度より「分からない」の回答が増え、「とてもあてはまる」の回答が低くなっている。このことは、新型コロナウイルス感染症対策により、授業をはじめとする学校行事等の公開に制限があり、十分に理解を深められなかったことが要因ではないかと考えられる。
- ・設問1 令和3年度は令和2年度より「とてもあてはまる」が19ポイント低下している。この要因は、授業や学校行事等の公開が十分に実施できなかったことが考えられる。
  - ・設問4 この項目では、昨年度より肯定的な意見が10ポイント下がっている。緊急事態宣言下で公開授業がほとんど実施できず、公開できた学校行事が音楽会のみであったことが原因として挙げられる。
  - ・設問9 この項目では「分からない」という回答が13ポイント増えている。個人面談等で保護者の意見・要望を聞く機会を充実させ、協力して教育を進めることができるようにする。
  - ・設問11 この項目では、「あてはまらない」という回答が3ポイント増えている。学校経営方針については、保護者会の全体会で学校長から説明をしているので、保護者に参加していただけるように工夫するとともに、具体的な教育活動について学校だより等で引き続き発信をしていく。
  - ・設問13 保護者からの支援や協力に対する設問では、「とてもあてはまる」が20ポイント低下するとともに、「あてはまる」も13ポイント低下した。今年度は、感染症対策により、教育活動の制限や活動形態を変更することが多くなったことから、保護者からの支援や協力を要請することが少なかったことが要因であると考えられる。
- まとめ 今後の感染症対策のガイドラインに基づいた、学校公開の機会を多く設定するとともに、ホームページや学校だより等で情報を発信できるよう工夫する。